

■**東山魁夷** **日本画家。画壇の中心を歩み、<敗戦>直後に風景画家として地歩、一般からも人気を集め続けた。**

ひがしやまかい い

アララギ 創刊・1908＝ 横浜市の海岸通り生れ。

大逆事件判決1911＝ 3歳：父の仕事の関係で、神戸に移住。

明治天皇没・1912＝ 4歳：

大正政変・・1913＝ 5歳：神戸市の幼稚園に入園。

21ヶ条要求・1915＝ 7歳：神戸市の小学校に入学。

ロシア革命・1917＝ **9歳**：

原敬首相暗殺1921＝13歳：兵庫県立神戸第二中学校に入学。

円本時代始・1926＝**18歳**： **東京美術学校日本画科に入学。**

世界恐慌・・1929＝21歳： **第10回帝展に「山国の秋」を初出品し、入選。**

満州事変・・1931＝23歳： **東京美術学校日本画科を卒業、美校研究科に進み、結城素明に師事。雅号を魁夷とする。**

国際連盟脱退1933＝25歳：東京美術学校研究科を修了し、欧州留学に出る。

帝人疑獄事件1934＝26歳：各地を巡遊した後、ベルリン大学哲学科美術史科に入学。

芥川直木賞始1935＝**27歳**：父危篤の報に、中退して、帰国。以後、文展に出品。

日中戦争始・1937＝29歳：初個展開催。

第二次大戦始1939＝31歳： ***日本画院第1回展に「冬日」(3部作)を出品、日本画院賞第1席を受賞。**

大政翼賛会・1940＝32歳：日本画家川崎小虎の長女と結婚。

日米開戦・・1941＝33歳：

創価学会検挙1943＝35歳：国土会を結成。中国に取材旅行し、「大陸写生展」を開催。

年金+総武装 1944＝**36歳**：

敗戦・・・・1945＝37歳： **陸軍に召集、配属先の熊本の一部隊で阿蘇の雄大な景観に触れて画心を確立。**

新憲法施行・1947＝39歳： **第3回日展で「残照」が特選・政府買い上げとなり、風景画家として立つことを決意。**

以後、日本各地の風景を題材とする一方、北欧・ドイツの風光や中国の風景も描く。自然や風土を深く洞察し、人間の郷愁を深くたたえた静謐な画風は現代の風景画に新局面を開拓した。

朝鮮戦争始・1950＝42歳： ***第6回日展出品の「道」で、画壇のみならず社会的にも大きな評価を受け、風景画家としての地歩を築いた。六窓会を結成。日展審査員となる。**

独立回復・・1951＝43歳：

TV放送始・・1953＝**45歳**：市川市に、以後住み続けることになる家を新築。

国連加盟・・1956＝48歳： **第11回日展出品の「光昏」により芸術院賞受賞。**

安保闘争・・1960＝52歳： **東宮御所大広間壁画「日月四季図」を完成。**

タイタイ病始・1961＝53歳： **吹上御所御用命画。**

全国総合計画1962＝**54歳**：

大学紛争始・1965＝57歳：日本芸術院会員に選ばれる。日展理事に就任。

霞ヶ関ビル・1968＝60歳： **皇居新宮殿壁画「朝明けの潮」を完成。**

全共闘ビーク・1969＝61歳： **文化勲章受章、毎日芸術大賞。**

ドルショック・・1971＝**63歳**： **唐招提寺御影堂全障壁画の制作にかかる。**

日中国交回復1972＝64歳：日展評議員，

石油ショック1973＝65歳：

角栄金脈辞任1974＝66歳：日展理事長に就任。

ケアンブル事件1975＝67歳： **唐招提寺御影堂障壁画第一期28面を完成。**

田中角栄逮捕1976＝68歳：西ドイツ功労大十字勲章，

成田衝突・・1978＝70歳：北京で「東山魁夷展」を開催。

ドイツでも開かれた。

貿易摩擦問題1980＝**72歳**： **唐招提寺御影堂全障壁画が完成。**

・・・・・1981＝73歳： ***東京近代美術館で「東山魁夷展」が開催され、記録的な入場者。**

中曽根内閣・1982＝74歳：大規模な回顧展を開催。

・・・・・1984＝76歳：日展顧問となる。

バブル始・・1986＝78歳：日本芸術院第一部長に選任される。

竹下内閣・・1987＝79歳： **家蔵の自作品600余点を一括して長野県に寄贈。**

リクルート事件・1988＝80歳：市川市名誉市民。

昭和天皇没・1989＝**81歳**：オーストリア芸術家協会名誉会員，

ドイツ統一・・1990＝82歳： **長野市の信濃美術館内に東山魁夷館が開館。大嘗祭に際し皇居豊明殿に飾る「悠紀地方屏風絵」を完成。**

わんぱく事件・1995＝87歳： **長野県山口村に「東山魁夷心の旅路館」が開館。**

石原都知事・1999＝91歳： **没した。**

講談社カルチャーブックス「東山魁夷・自然のなかの喜び」，平凡社百科事典，